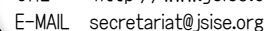


ニュース・レター No.192



2014年度功労賞のご紹介

西之園晴夫 殿

西之園晴夫先生は、1988年から1999年まで本学会の理事を歴任されました。それに先立つ1985年、CAI学会第10回年会を開催する際に発足した教育工学関連学協会連合の初回の大会が京都教育大学で開催された際に、その全国大会の実行委員長としてCAI学会第10回全国大会のほかに日本教育工学会全国大会、日本視聴覚教育学会全国大会、国立大学教育工学センター協議会の4学協会連合の結成に努力し、その後に教育工学関連学協会連合の全国大会を2000年まで3年毎に継続して開催する基盤を築かれました※。日本教育工学会は初等中等教育段階の教育工学も包括していたのに対して、CAI学会は、独自性を継承するためにこの連合大会を契機として高等教育段階だけでなく産業界でのコンピュータの教育活用の研究を重視し、1995年に現学会の名称へ改めています。西之園先生は、この改革にあたって委員として活躍されました。これらに加えて、理事としての本学会の定常的な運営に対する貢献をたたえ、ここに表彰いたします。

※なお連合大会は2000年まで3年毎に開催されましたが（2000年には情報処理学会コンピュータと教育研究会も企画セッションに参加）、その規模が大きくなりすぎたので連合は解消され、各学会ならびに協議会の単独の開催に戻っています。

2014年度功績賞のご紹介

岡本敏雄 殿

岡本敏雄先生は、2001年から4年間、および2007年から4年間、本学会の会長を務められ、学会の発展に尽力されました。そして、英文誌の発刊や日独ワークショップの開催等、教育システム情報学会の会長として、本学会の発展に大きく貢献してこられました。また、e-Learningアワード実行委員長、内閣官房内政審議室ミレニアム・プロジェクト「教育の情報化評価・助言」会議やISO/SC36（学習・教育・研修のための情報技術標準化専門委員会）WG2議長など、さまざまな組織・委員会等を通して、eラーニングシステムをはじめとする教育の情報化に幅広く貢献されました。このように研究・組織運営活動を通じての本学会に対する貢献をたたえ、ここに表彰いたします。

**教育システム情報学会（JSiSE）
2014 年度第 4 回研究会 プログラム**

教育システム情報学会（JSiSE）

研究会委員会

担当：柏原昭博，長谷川忍，小尻智子，曾我真人

【テーマ】 タブレットメディア・スマートフォンなどの新しい ICT を用いた
先進的な学習・教育支援／一般

【日 時】 2014 年 11 月 8 日（土）

【会 場】 電気通信大学 東 3 号館 301 室

（〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1）

【会場担当】 柏原 昭博（電気通信大学）

【連絡先】 柏原 昭博（akihiro.kashihara [at] inf.uec.ac.jp）

【プログラム】

※1 件 30 分（発表 20 分 質疑応答 9 分 交代 1 分）

○は登壇者

◇開場 9:30

◇開会の挨拶 9:55-10:00

◇セッション 1 10:00～12:00

(1) 10:00-10:30

プレゼンテーションスキーマに基づくドキュメントアップグレードプロセスの分析

○上中裕介，柏原昭博（電気通信大学大学院情報理工学研究科）

(2) 10:30-11:00

プレゼンテーションに対する意識を高める授業の一考察

○立野貴之（松蔭大学），舘秀典（東京福祉大学）

(3) 11:00-11:30

ゼミ組織における実力養成に関するシステムズ・アプローチ

○井上一郎（京都産業大学）

(4) 11:30-12:00

看護師長の看護情報管理の現状と活用への教育的と課題

○伊津美孝子（森ノ宮医療大学），真嶋由貴恵（大阪府立大学大学院）

（昼休み 12:00-13:00）

◇セッション2 13:00～14:00

(5) 13:00-13:30

Web 調べ学習における学習課題分節化および構造化支援

○木下恵太，柏原昭博（電気通信大学大学院情報理工学研究科）

(6) 13:30-14:00

日本剣道形の指導支援のための電子教材による映像提示の効果

○彦坂和里（静岡大学大学院），西尾典洋（目白大学），

杉山岳弘，白井靖人，杉山融（静岡大学大学院）

（休憩 14:00-14:30）

◇セッション3 14:30～16:30

(7) 14:30-15:00

TA 業務支援システムにおけるスマートウォッチを用いた学生呼出状況通知機能の提案

○津村祐司，川端雄一郎，古賀雅伸（九州工業大学），矢野健太郎（福岡工業大学短期大学部）

(8) 15:00-15:30

検索と共有を支援するユビキタスビデオオンデマンド学習環境の開発

戴江寧，長谷川忍（北陸先端科学技術大学院大学）

(9) 15:30-16:00

Web の学習コンテンツをアンチ・ユビキタス化するプラットフォームの構築手法

○天野憲樹（埼玉大学基盤教育研究センター）

(10) 16:00-16:30

スマートフォンによるコミュニケーションスキル獲得を目指した教材の開発

～社会福祉士養成教育における模擬面接での活用とその学習効果～

○坂本毅啓，佐藤貴之（北九州市立大学）

◇閉会の挨拶 16:30-16:35

教育システム情報学会 (JSiSE) 2014 年度第 5 回研究会 発表募集

教育システム情報学会 (JSiSE)

研究会委員会

担 当：佐々木整，三石 大，光原弘幸

【テーマ】新技術の開発と活用による次世代教育・学習環境のデザイン/一般

【開催日】2015 年 1 月 10 日(土)

【会 場】大阪産業大学 (16 号館 16507 号室)

<http://www.osaka-sandai.ac.jp/static/html/access/>

http://www.osaka-sandai.ac.jp/cgi-bin/cms/campuslife.cgi?campus_cd=dahGfnCaCR

【趣 旨】

iPhone/iPad や Android に代表されるスマートデバイスが急速に普及し、教育・学習環境の新たな可能性がますます広がりつつあります。このようなスマートデバイスを利用した教育・学習環境の構築や様々な先進的な取り組みに止まらず、教育・学習環境の可能性を拓ける要素技術の開発、スマートデバイスを効果的活用するためのクラウドコンピューティングなどの情報基盤に関する研究などに対する期待も一層大きなものとなってきました。

このような新しい技術の開発やそれらを発展させる技術開発はもとより、それらの技術を利用した教育・学習環境の提案やその開発、実践、そのための教育システムや基礎技術の開発、ならびに将来の教育・学習手法に関する幅広い研究発表を募集します。

【主な対象】

- スマートデバイスと Web 環境の連携等の新しい学習形態と手法に関する研究・開発
- クラウドコンピューティングによる新しい教育・学習環境のデザイン、活用に関する研究
- Web や携帯ネットワーク，センサーネットワーク，アドホックネットワーク等を活用した新しいネットワーク活用・教育手法に関する研究・開発
- ネットワークコンピューティングを活用した新しいデバイス技術に関する研究・開発
- 新しい教育・学習環境と学習効果・教育効果に関する研究
- スマートデバイスを活用した協調学習，アクティブラーニングに関する研究
- その他教育システム/e ラーニング一般

【発表申込】

※発表申込み締切：2014年11月14日（金）

以下の事項を電子メールにてお送りください。

1. 発表タイトル
2. 発表者・所属（登壇者に○）
3. 発表概要（100字程度）
4. キーワード（3～5語程度）
5. 連絡先住所・氏名・電子メールアドレス

■申込先

第5回研究会担当委員(代表：拓殖大学 佐々木 整)

E-mail: jsise-5th-submit_at_eitl.cs.takushoku-u.ac.jp (_at_ を@に変えてください)

【発表原稿と著作物利用許諾書の提出】

※発表原稿と著作物利用許諾書の提出締切：2014年12月5日（金）必着

以下の事項にご注意下さい。

1. 発表原稿はA4用紙で、2枚以上8枚以下の偶数枚をお願いします。
2. 発表原稿の様式は、学会 Web サイトの研究会開催案内ページの左メニューにある「研究会報告執筆要領」に掲載しております「研究会報告執筆要領・見本」をご確認ください。
3. 著作物利用許諾書は、学会 Web サイトの研究会開催案内ページの「研究会報告執筆要領」から「著作物利用許諾書」をダウンロードし必要事項をご記入して下さい。
4. 発表原稿と著作物利用許諾書の送付方法と送付先

発表原稿と著作物利用許諾書は、以下のあて先に、フォント埋め込みされた PDF 形式で電子メールにて送信して下さい。

なお、発表原稿を PDF に変換する際に、図の解像度を明示的に指定し(300dpi 以上)、鮮明に印刷可能であることを確認してください

(Word の PDF 出力機能を利用すると解像度が十分得られない場合があります)。

■送付先

第5回研究会担当委員(代表：拓殖大学 佐々木 整)

E-mail: jsise-5th-submit_at_eitl.cs.takushoku-u.ac.jp(_at_ を@に変えてください)

【お問い合わせ、発表申込、原稿提出先】

第5回研究会担当委員(代表：拓殖大学 佐々木 整)

E-mail: ・jsise-5th-submit_at_eitl.cs.takushoku-u.ac.jp

・sasaki_at_cs.takushoku-u.ac.jp

(_at_ を@に変えてください)

教育システム情報学会 2014 年度第 3 回研究会報告

- テーマ : ゲーム・エンターテインメントと教育システム／一般
- 開催日 : 2014 年 9 月 29 日 (月)
- 会 場 : 香川大学幸町キャンパス研究交流棟 5 階研究交流スペース
(〒760-8521 香川県高松市幸町 1-1)
- 担 当 : 林敏浩、小西達裕、安間文彦
- 発表件数 : 9 件 / 参加者数 : 約 30 名
- 概 要 :

ゲームを用いた教育システムは古くから研究や教育実践の対象となってきました。また、ゲームもビデオゲーム的なコンセプトから、その面白さ、さらにエンターテインメントまでその裾野が広がり、単にゲームのインタフェースを持つ教育システムにとどまらなくなってきました。そこで本研究会では、広い視点でゲーム・エンターテインメントと教育システムに関する理論、設計、実装、教育実践を議論する場の提供をめざし、「ゲーム・エンターテインメントと教育システム」を研究会テーマとしました。本研究会では 9 件の発表の内、5 件が本テーマに関わるもので、各発表に関して質疑応答は活発に行われ、深い議論ができたと考えます。

— 2014 年度 研究会開催予定 —

	テーマ	日 時	会 場	申込 締切	原稿 締切
第 1 回	e ラーニング環境のデザインと組織マネジメント/医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育/一般	終 了	放送大学	3 月 17 日	4 月 7 日
第 2 回	ICT を活用した教育の質保証とその評価／一般	終 了	千歳科学技術大学	5 月 17 日	6 月 7 日
第 3 回	ゲーム・エンターテインメントと教育システム／一般	終 了	香川大学	7 月 1 日	8 月 21 日
第 4 回	タブレットメディア・スマートフォンなどの新しい ICT を用いた先進的な学習・教育支援／一般	2014 年 11 月 8 日 (土)	電気通信大学	9 月 19 日	10 月 10 日
第 5 回	新技術の開発と活用による次世代教育・学習環境のデザイン/一般	2015 年 1 月 10 日 (土)	大阪産業大学	11 月 14 日	12 月 5 日
第 6 回	新たなネット時代のソーシャルメディアリテラシーと情報倫理/一般 ※第 6 回研究会と並列開催で、和文誌特集論文研究会を予定	2015 年 3 月 21 日 (土)	関東地区で 開催予定	未定	未定

教育システム情報学会誌

特 集 号 論 文 募 集

—多様な端末と大規模学習データが拓く新たな学習支援環境—

近年の情報処理技術の進歩により、情報端末はますます小型で扱いが容易になり、タブレットやスマートフォンにとどまらず、ウェアラブル端末の普及も間近に迫っています。一方、これらの情報端末を含む情報機器から発信される利用者の膨大な行動履歴情報は、ビッグデータとして情報処理の新たな価値を産み出しつつあり、その可能性は未だ十分に開拓しつくされたとはいえないと考えられます。

当然、教育システム技術にも、これらの情報端末やビッグデータの技術動向は、影響を及ぼしており、新たな情報端末の教育応用や、従来よりも格段に詳細な学習行動履歴情報を活用したラーニングアナリティクスと呼ばれる学習データ分析技術の研究開発が盛んになってきています。

以上のような状況を踏まえ、今回、「多様な端末と大規模学習データが拓く新たな学習支援環境」に関する特集号を企画いたしました。当該分野における新たな教育支援技術、ならびに当該分野の技術を応用した教育実践に関する研究開発の論文を幅広く募りますので、奮ってご投稿ください。

1. 対象分野

「多様な端末と大規模学習データが拓く新たな学習支援環境」に関する研究論文を幅広く募集します。キーワードは、次の通りですが、これに限定されるわけではありません。また、「多様な端末」、「大規模学習データ」のいずれかに関わる学習支援環境の研究であれば、本特集号の対象となります。

モバイルラーニング、ユビキタスラーニング、スマートフォン、タブレット、ウェアラブル端末、電子教科書、センサーネットワーク、IoT (Internet of Things)、学習クラウド、ソーシャルメディア、学習コミュニティ、学習ポートフォリオ、ビッグデータ、オープンデータ、ラーニングアナリティクス、など

2. 論文種別

通常と同様、すべての種別（原著論文、実践論文、ショートノート、実践速報）の論文を募集します。なお、査読結果により、異なる種別での採録となる場合もあります。また、編集委員会の判断で、一般投稿論文として扱うことになる場合もあります。あらかじめご了承ください。

3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます。詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください。Web 投稿の際には以下の点にご注意ください。

- 「投稿種別」で「特集号」を必ず選択してください。
- 特集研究会（2015 年 3 月 21 日（土）開催予定）で発表を行った方は、投稿情報入力の際に「事務局への連絡事項」の欄に、特集研究会での発表題目と発表番号を記載してください。

4. スケジュール

- 特集研究会：2015 年 3 月 21 日（土）
（発表申込締切：2015 年 1 月中旬／原稿提出締切：2015 年 2 月初旬）
- 投稿論文原稿〆切：2015 年 6 月 8 日（月）
- 掲載予定巻号：2016 年 4 月 1 日発行予定の学会誌（Vol. 33, No. 2）

5. 特集号編集委員会

委員長：仲林清（千葉工業大学）

副委員長：小西達裕（静岡大学）、瀬田和久（大阪府立大学）

幹事：益川弘如（静岡大学）、松浦健二（徳島大学）、森本康彦（東京学芸大学）
小島一晃（帝京大学）、東本崇仁（東京理科大学）、笠井俊信（岡山大学）

委員：学会誌編集委員

6. 問い合わせ

- 特集号全般に関する問い合わせ：
特集号編集委員会副委員長 小西達裕（静岡大学）
E-mail: konishi@inf.shizuoka.ac.jp
- Web 投稿に関する問い合わせ：
教育システム情報学会編集事務局
電話：03-5389-6492, E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-19 株式会社国際文献社 長澤

教育システム情報学会 第 39 回全国大会 終了報告

全国大会委員長 不破 泰(信州大学)

平成 26 年の教育システム情報学会の全国大会を、9 月 10 日(水曜日)から 12 日(金曜日)の期間、「多様化する教育・学習工学とそれを支える基盤技術 -形式知・経験知・身体知、そして創造性の育成-」というテーマで、和歌山大学で開催しました。3 日間とも天候に恵まれ、さわやかな風が吹くキャンパスで熱い議論が連日交わされました。

今回の大会では、プレカンファレンスに 5 テーマ、8 セッションからなる企画セッションに 40 件の発表、6 件の学生研究特別セッション発表、154 件の口頭発表に加え、今回から新たに始めたインタラクティブ発表にも 35 件の発表と多くの発表が集まり、442 人と例年同様多くの参加者に集まっていたいただきました。

10 日には「最近の大学改革の動向（「量と質の充実」について）」というタイトルで文部科学省の新木聡様の特別講演を、11 日には学会会長の前迫孝憲先生(大阪大学)から「伝統と技術革新の狭間」というタイトルで基調講演を、12 日には「和歌山大学の宇宙教育:モデルロケットから宇宙観光まで」というタイトルで和歌山大学の尾久土正己先生の招待講演をそれぞれ開催し、教育工学が持つ多様な側面をそれぞれの立場から御講演いただきました。

また、毎年大会開催でお世話になっている企業展示、企業セッションでは、展示が 22 社、広告掲載が 8 社、企業セッションでのプレゼンテーションが 16 社と大変多くの企業にご協力いただきました。

本学会が法人化したことに伴い、大会の準備・運営を行う組織として全国大会委員会があり、その下に大会プログラム部会、現地実行委員会を設けた規程を定め、この規程の下で開催した初めての大会でした。また、大会の安定的運用を可能にするための業務分担、ルール化、外注化等も昨年に引き続き徹底して実施し、今大会で今後の基盤が出来上がりました。それでも、現地和歌山大学の曾我真人先生を中心とした地元関西支部の方々に、多くの負担をおかけしました。また、座長を務めていただいた多くの皆様、学会当日臨機応変に働いてくださった学生スタッフの皆様、その他多くの方々のおかげで大会を無事に終えることができました。本当にありがとうございます。

全国大会は、幅広い研究との出会いの場、人との出会いの場、機会との出会いの場です。特に若い学会員の皆さんにとって、様々な諸先輩の話を聴く場であり、また同世代の仲間との情報交換の貴重な場でもあります。来年の全国大会は、徳島大学で開催いたします。来年は徳島でお会いしましょう。

第 39 回全国大会 奨励賞審査結果について

大会奨励賞は、教育システム情報学および関連分野における学問の発展を奨励するため、その貢献が顕著である新進の研究者に贈呈するものです。受賞時に本学会の会員（入会申請中を含む）であって、40 歳を越えていない、または、本学会入会時から 10 年を経過していない方が対象となります。また発表論文の第一著者であり発表時において登壇者であること、直近の過去 2 回の大会でこの賞を受賞していないことも条件となります。

大会奨励賞審査委員会により論文審査・発表審査を行い、本大会の審査対象論文 85 件から、以下の論文の各第一著者を大会奨励賞に選定いたしました。

（以下は講演番号、発表題目、著者（○は受賞者）、所属の順）

- A1-4 対象世界におけるプログラムの挙動を視覚化する教材の作成支援環境
○藤岡僚太(1)，小暮悟(1)，野口靖浩(2)，山下浩一(3)，小西達裕(1)，伊東幸宏(2)
【(1) 静岡大学大学院，(2) 静岡大学，(3) 浜松大学】
- A2-3 自閉症者を対象とした遠隔ケース会議支援システム開発に向けた実践的検討
○小川修史，中澤由紀 【兵庫教育大学大学院】
- A2-4 特別支援学級における作問学習支援システムの実践事例
○山元翔，平嶋宗 【広島大学大学院】
- D5-4 協調学習における韻律特徴を用いた発話タグ推定モデル
○林佑樹(1)，大佛駿介(2)，中野有紀子(2) 【(1) 大阪府立大学，(2) 成蹊大学】
- H5-2 ピアアセスメントの低次評価者母数を持つ階層ベイズ項目反応理論
○宇都雅輝(1)，植野真臣(2) 【(1) 長岡技術科学大学，(2) 電気通信大学大学院】

以上 5 件

2013 年度（平成 25 年度）研究会優秀賞の選定について

教育システム情報学会
研究会委員長 平嶋 宗
研究会優秀賞選定担当 松居辰則

研究会優秀賞は教育システム情報学および関連分野における学問の発展を奨励することを目的として、本会研究会で発表された研究のうち、特に優秀なものを選び、研究会優秀賞として表彰致します。表彰対象、審査基準は以下の通りです。

表彰対象：表彰を行う年の前年の 4 月からその年の 3 月までの 1 年間に本会の研究会で本会会員によって発表された研究とする。

審査基準：本学会における学術的、技術的、実践的貢献を考慮の上、新規性および有用性を重視するものとする。受賞数は、全研究会発表件数の 3%を目処とする。

附記：連名者全員を表彰対象とする。

2013 年度（平成 25 年度）は、6 回の定例研究会と 1 回の特集研究会で総数 155 件の発表がありました。この中から、各研究会から計 9 件の推薦がありました（一次審査）。そして、被推薦発表を対象に二次審査を実施し、最終的に以下の 4 件の研究会優秀賞を選出致しました。大変おめでとうございます。

【2013 年度第 2 回研究会】 研究報告 Vol. 28, No. 2 掲載

ボードゲームの戦略プログラミングを題材とした Java 演習支援
—指標戦略の導入と重み付き勝点度による結果分析—
山田航平・富永浩之（香川大学）

【2013 年度第 3 回研究会】 研究報告 Vol. 28, No. 3 掲載

Web 調べ学習における課題展開を活性化するための Fadable Scaffolding
大石千恵、柏原昭博（電気通信大学大学院）

【2013 年度第 6 回研究会】 研究報告 Vol. 28, No. 6 掲載

理解の差分を抽出する手法の提案とそれを用いた対話活動支援の実験的評価
藤澤祐二・仁野由彬（広島大学）、林雄介・平嶋宗（広島大学大学院）

【2013 年度特集論文研究会】 研究報告 Vol. 28, No. 7 掲載

透視図法を学習可能な AR によるスケッチ学習支援システムの開発
稲留太郎・曾我真人・瀧寛和（和歌山大学大学院）

以上

国際会議のご案内

国際会議のご案内は、教育システム情報学会の会員みなさんからの紹介や、インターネット上で流れている CFP 情報をもとに編集されています。会員みなさんに紹介したい国際会議などがありましたら、ご連絡ください。

また、実際に国際会議に参加されたレポートなどを送っていただければ今後の国際会議の案内作成の際に大変参考になりますので、そちらのほうもお待ちしております。

2014 年 11-12 月開催

☆ICCE2014 Workshop/WIPP (Work-In-Progress Poster) /DSC (Doctoral Student Consortia)
(22nd International Conference on Computers in Education)

- ・ 開催期間 : November 30- December 4, 2014
 - ・ 開催地 : 奈良, 日本
 - ・ URL: <http://icce2014.jaist.ac.jp/icce2014/>
 - ・ Workshop : http://icce2014.jaist.ac.jp/icce2014/?page_id=727
 - ・ WIPP : http://icce2014.jaist.ac.jp/icce2014/?page_id=1931
 - ・ DSC : http://icce2014.jaist.ac.jp/icce2014/?page_id=668
 - ・ 論文投稿〆切 : WIPP/DSC - August 20, 2014
- Workshop 論文については各 Workshop の Web ページをご確認ください。

☆ICCE2014: 22nd International Conference on Computers in Education

- ・ 開催期間 : November 30- December 4, 2014
- ・ 開催地 : 奈良, 日本
- ・ URL: <http://icce2014.jaist.ac.jp/icce2014/>
- ・ 論文投稿スケジュール: Paper Submission Deadline : May 26, 2014 (Extended)



東 海 支 部 よ り 報 告

■開催日：9月10日(水)

■会 場：和歌山大学

■概 要：第39回全国大会のプレカンファレンスにて、「eラーニング教材の蓄積を活用した大学教育・生涯学習における新しい学習形態に向けて」と題したワークショップを開催しました。東海支部が企画するワークショップを全国大会で実施するのは、今年で4年連続4回目となります。

4名のオーガナイザから、大学教育・生涯教育の教材整備（吉根勝美）、iPad利用の大学授業（山住富也）、栄養士養成におけるデータ活用（長谷川信）、eラーニングの心理学的アプローチ（野崎浩成）など、多方面にわたる支部会員の研究が大学教育・生涯学習の見地から紹介され、全国からの参加者との活発な議論が行われました。

今後とも、さまざまな機会をとらえて、東海支部の活動を全国に発信して参りたいと考えております。

他 団 体 協 賛

情報処理学会 『情報教育シンポジウム SSS2014』 日時：2014年8月24日(日)～26日(火) 会場：オリビアン小豆島ホテル	モバイル学会 『モバイル'15』 日時：2015年3月12日(木)～13日(金) 会場：名古屋大学 東山キャンパス
情報処理学会 『高校教科「情報」シンポジウム 2014 秋』 (ジョーシン 2014 秋) 日時：2014年10月25日(土) 会場：早稲田大学 西早稲田キャンパス	情報オリンピック日本委員会 『第14回日本情報オリンピック』 名義使用期間：2014年8月1日～2015年3月31日 日時：2014年12月予選、2015年2月末本選、他 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター他

学会誌・研究報告バックナンバーのお求めは

学会誌・研究報告のバックナンバーを購入ご希望の方は、㈱毎日学術フォーラムまでお申し込みください。

株式会社 毎日学術フォーラム

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 2 階

TEL : 03-6267-4550 / FAX : 03-6267-4555

Mail : maf-sales@mycom.co.jp / URL : <http://maf.mycom.co.jp>

■JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局までご連絡ください。この機会にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。

■年間購読料 4,000 円／年 6 回発行＜送料込＞

事務局より

★☆☆年会費請求書発送について☆☆★

2014年度の年会費の納付期限は、2014年9月末日となっておりますので、ご入金が未だの会員様は至急ご納付くださいますようお願いいたします。

また、年会費未納の会員様につきましては、2013年度以前の未納が続きますと、ご入金を確認できるまで、学会発送物をお止めさせて頂く場合がございます。また、定款の定めにより除名手続きを進めさせていただくこととなります。未納のある会員様は事務局までご連絡をいただければ、期日を過ぎましても受け付けておりますので宜しくお願い致します。 ご不明な点がございましたら、事務局までメールにてお問い合わせ下さい。

JSiSE 事務局 E-mail : secretariat@jsise.org

※ご登録いただいております情報に変更がございましたら、変更届を事務局までご提出ください。
ご連絡が無い場合、学会発送物がお届けできない場合がございます。

◎ 年会費のご案内 ◎

- | | |
|-------------------|----------------------------|
| ■正会員：7,000 円 | ■入会金：1,000 円（正会員・初年度のみ） |
| ■学生会員：4,000 円 | ■研究報告年間購読：4,000 円（購読希望者のみ） |
| ■企業・団体会員：50,000 円 | |

◎ 新 口 座 ◎ 平成 26 年 5 月 1 日より

ゆうちょ銀行（口座名義人のみ変更） ※ゆうちょ間 口座番号 00180-6-709632 口座名義人 一般社団法人教育システム情報学会 フリガナ シヤキョウイクシステムジヨウホウカガクカイ ※他銀行より 支店名 ○一九店（ゼロイチキョウ） 当座預金 0709632 口座名義人 一般社団法人教育システム情報学会 フリガナ シヤキョウイクシステムジヨウホウカガクカイ	三菱東京 UFJ 銀行（新口座） 支店名 上新庄支店（カミシンジョウ） 普通預金 0142708 口座名義人 一般社団法人教育システム情報学会 フリガナ シヤキョウイクシステムジヨウホウカガクカイ みずほ銀行（新口座） 支店名 茨木支店（イバラキ） 普通預金 1399483 口座名義人 一般社団法人教育システム情報学会 フリガナ シヤキョウイクシステムジヨウホウカガクカイ
---	---

★☆☆振替口座変更のお知らせ☆☆★

一般社団法人への移行に伴い、平成 26 年 5 月 1 日より本学会取引口座が、上記の通り変更になりましたので、お間違いございませんようお願いいたします。

新 入 会 員 募 集

一般社団法人教育システム情報学会は、教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究・調査および情報交換を支援し、教育への情報通信技術の利用を普及させることをその目的としています。

定期的に行われる研究会・セミナーなどに、研究成果を発表できることや、そのほか、定期刊行物の論文誌、研究報告書(年間購読お申し込みの方)などがお手元に届きます。

教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いの方がおられましたら、是非ご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

■お申し込み方法■

入会をご希望の方は、入会申込書は学会Webページ (<http://www.jsise.org/>) に掲載しておりますので(PDFファイル)ダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、学会事務局にご郵送または、FAXか、メールにてお送りいただきますようお願いいたします。

ご入会の手続きをいたしますので、後日、事務局から入会金や年会費のお支払い方法などの詳しい資料を送付します。

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、
入会金無料・その場で、学会誌最新刊を進呈させて頂くという
キャンペーンを行っております。
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願い致します。

■学会事務局宛■

〒533-0005

大阪市東淀川区瑞光3丁目3-25-101号

一般社団法人教育システム情報学会 事務局宛

TEL/FAX 06-6324-7767 Email : secretariat@jsise.org

新入会員の紹介

2014/6～2014/9

下記の企業様が新しくご入会されました。※敬称略

企業・団体名	代表者	会員種別
グリッドマーク株式会社	吉田健治	賛助会員

下記の皆様が新しくご入会されました。

名前	所属機関	会員種別
江藤公宣	株式会社バックスグループ	正会員
白澤秀剛	東海大学	正会員
平井裕史	香川大学	学生会員
佐藤久美子	玉川大学大学院	正会員
永藤理裕	東京学芸大学	学生会員
榊田聖子	甲南女子大学	正会員
江尻拓平	東京学芸大学	学生会員
濱田美晴	高知学園短期大学	正会員
近藤伸也	ひょうご震災 21 世紀研究機構	正会員
山崎宣次	中部学院大学	正会員
富永直也	大阪大学大学院	学生会員
村松慶一	埼玉大学大学院	正会員
岩峪和真	和歌山大学	学生会員
西山大貴	北陸先端科学技術大学院大学	学生会員
高瀬治彦	三重大学	正会員
東野利貴	和歌山大学	学生会員
京谷隆史	和歌山大学	学生会員
叶 秀征	和歌山大学	学生会員
阪上慶二郎	和歌山大学	学生会員
辻川達郎	和歌山大学	学生会員
佐藤優太	和歌山大学	学生会員
河合博子	高崎商科大学	正会員
坂田信裕	獨協医科大学	正会員
宇都雅輝	長岡技術科学大学	正会員
藤本宣人	広島工業大学	学生会員
米谷雄介	早稲田大学	正会員
野口隆裕	和歌山大学	学生会員
吉田健治	グリッドマーク株式会社	※正会員
岩崎真理雄	グリッドマーク株式会社	※正会員
林 直也	広島大学大学院	学生会員
中田大介	広島大学大学院	学生会員
室津光貴	広島大学大学院	学生会員
古久保和仁	広島大学大学院	学生会員
藤澤祐二	広島大学大学院	学生会員
大野麻子	大阪産業大学	正会員
芝崎順司	放送大学	正会員
		正会員 17 名
		学生会員 19 名